



桃一通信

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

No. 673
令和5年 3月号



一年間ありがとうございました

校長 高橋 浩平

令和4年度が終わります。今年度のスタート、4月の学校だよりに次のように記しました。

今年度から新たな教育ビジョンのもと、学校経営を進めてまいります。

杉並区教育ビジョン2022 「みんなのしあわせを創る 杉並の教育」

このビジョンを受けて、本校の令和4年度の教育活動のメインテーマを「わくわくする桃一」としました。6年生に5年の3学期に『わくわくする桃一』にどんなイメージがありますか?とアンケートをとりました。子供たちはまじめに考えてくれました。キーワードとしてたくさん出てきたのが「楽しい」「笑顔」「仲良し」でした。「わくわくする桃一」の実現のために、まず何よりも「楽しい学校」を目指していきたいと思っています。

「わくわくする桃一」をスローガンに1年間進めてきました。学期末の終業式のたびに子供たちに「わくわくした学校生活が送れましたか?」と聞いていましたが、1年間を終える今、子供たちはどんな振り返りをしているのでしょうか。「わくわくした一年だった」と思う子もいるでしょうし、「ちっともわくわくしなかったよ」と思う子もいるんでしょうね。

杉並の教育ビジョン2022には「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」として①子どもの思いを尊重する②ちがいを受け入れる③対話を大切にする④学びの成果を贈り合う⑤社会を創る当事者として考える、の5つを日常的に心がけていく、と書かれています。特に「ちがいを受け入れる」ということ

は「多様性を認め合う」という共生社会の理念にもつながる大きな要素ですが、私たち大人も、なかなか難しいことだと思っています。残念ながら「違いを認めない⇒排除する」という流れの方が強いように感じます。

学校経営の柱の一つ、インクルーシブ教育を本校では①できないことをほったらかしにしない②共に学び共に支え共に創る教育③障害理解教育、と押さえ、一般的によく言われる「障害のある子もない子と一緒にいる教育」という狭い意味合いではなく、学力に課題がある子、生活面で課題のある子もすべてインクルーシブ教育の対象、と考えてやってきました。

このインクルーシブ教育の考え方は異論もあると思います。ただ、「多様性を認め合う」という視点で言えば、そういうインクルーシブ教育の考え方もあっていい、と思っています。なによりも現場にいる子供たち、保護者、教員、がそれぞれ当事者として「考える」ことが重要だと感じています。そして、子供たちが当事者として「考える」人になるには、子供に対して「指示命令」ではなく「受容、共感、提案」という姿勢がいいのではないかと、と思っています。インクルーシブ教育については、来年度も井荻中、四宮小と三校で、「三校合同インクルーシブプロジェクト」を継続して実施していきます。

保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様には本校の一年間の教育活動に対して多大なるご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。一年間、どうもありがとうございました。



未来へ羽ばたけ 6年生！

最後の合奏

6年生は、音楽で合奏「OMENS OF LOVE」を学習しました。6年生を送る会のお返しの演奏です。一人一人がこれまでの学習の成果を発揮するだけでなく、下級生への感謝の思いを込めて演奏しました。



社会科見学

社会科見学では、国会議事堂と科学技術館へ行きました。今まで学習してきたことについて、実際に見て、触れることで、学びを深めることができました。新たな気づきがあったり、興味関心が広がったりしたようです。



卒業に向けて

卒業に向けて実行委員を立てて活動しています。3学期の学年テーマである「Action」を体現するかのように、自分のため、友達のため、学校のために力を尽くします。

(6年担任)



生活指導部より



朝夕はまだ寒い日もありますが、昼間は暖くなり、春の訪れを感じるようになってきました。校庭の木々も春の訪れを待ちわびているようです。

さて、あと一か月で今の学年は終わり、4月からはひとつ上の学年に進級します。学年末なので、自分の身の回りの整理整頓をしながら、少しずつ荷物を持ち帰っていきます。家に持ち帰った物はきちんと整理したり、補充したりしてください。また、名前や学年をはっきりと書き直し、進級した時に気持ちよく使えるように準備をお願いします。特に毎日使う道具箱の中身、上ばきや体操服も自分の足や体に合っているかを確認し、不備があれば春休みに用意しておくようにしてください。

また、4月からは新しい教室、新しい環境になります。3月のうちに手洗い・うがいをする、時間を見て行動するなど基本的な生活習慣が身に付いているか確認しておきましょう。





もうすぐ進級！（各学年の様子）

1 年生

初めての小学校生活にわくわく、ドキドキした気持ちだった4月から一年が過ぎようとしています。4月当初は、6年生に手伝ってもらっていた朝の支度も、今では、仲良しタイムにも間に合うようにささっとできるようになりました。ひらがなからはじまった学習も、今では片仮名も漢字も丁寧に書くことができます。毎日共に過ごす中で、友達とのつながりも強くなり、日頃の当番活動や、長縄でも友達と協力して取り組む楽しさを味わいました。自分たちが味わった楽しい学校生活を、新しい1年生も味わえるように支えるカッコいい2年生を目指して、最後の一か月を過ごします。

2 年生

新しく1年生が入学し、お兄さん・お姉さんとしての一面も見られるようになりました。生活科の学習では、1年生を招待して遊ぶ計画を立て、当日も優しくリードしながら楽しく遊ぶことができました。2学期にはモモリンピックなどの行事を通して大きく成長しました。はじめはできないと思ったことにも、最後まであきらめずに取り組む立派な姿が見られました。3学期は、「3年生に向けて」と意識をして、学習面・生活面の課題に取り組んできました。いよいよ、4月から中学年の仲間入りです。自分の力をさらに大きく伸ばして活躍していく姿が楽しみです。

3 年生

3年生は、「理科」や「社会」、「総合」「毛筆」「リコーダー演奏」など、初めての学習がスタートしました。どの教科においても興味をもって、積極的に学習に取り組んだ一年でした。モモリンピックや桃一美術館では、大きな達成感を味わうことができました。特に「HANAGASA」や、初めての団体競技「玉入れ」など、みんなで力を合わせて一つのものを作り上げていくことのできた経験から、大きく成長してきたと感じています。先日の「6年生を送る会」では、実行委員を中心に6年生への感謝を伝えました。メッセージボードや踊りを交えることなど、全て子供たちのアイデアでした。6年生からは迫力ある素晴らしい合奏を聴かせてもらい、自分たちの未来の姿を思い描くことができたようでした。4年生でも、この調子で前進し、さらに成長していくことを期待しています。

4 年生

4年生は先月、「6年生を送る会」での合奏に向けて、練習を頑張ってきました。久しぶりとなった学年での合奏は、自分たちで演奏してワクワクしていました。クラスの演奏とは違う雰囲気や学年そろった時の迫力など、楽しみながら演奏することができました。当日も、6年生の入場を飾る素敵な演奏となりました。

いよいよ4月から5年生に進級です。委員会や学校行事など、様々な場面で桃一小を引っ張っていけるよう、1年間のまとめをしていきます。

5 年生

この一年間、5年生は「道」をテーマとして、学習や行事に取り組んできました。移動教室やモモリンピック、学年集会などでは、実行委員を中心に考えを出し合って進めました。自分たち自身で作り上げていく力、一人ひとりが計画的に進めていく力が付いてきています。3学期は、「6年生への道」として一人ひとりが実行委員となり、自分が担当する仕事に取り組んでいます。先日の「6年生を送る会」では、たてわり班での遊びを考え、少しずつ6年生が行ってきたことを引き継いでいます。学校の「顔」として、最高の6年生になれるように、残り一ヶ月準備をしていきます。

